

# 中小学校だより

November 30th. 2018 No.9

## 親子で学んだ地域家族参観日（拡大PTC活動）

昔は十六条村と呼ばれていました。この村は舟木川がたびたび氾濫して村人達を悩ましていました。1260年に「ごんぞう上人」が寺を建て、十一面観世音菩薩を安置したところ、舟木川の氾濫が静まり「美しい江（江は大きい川）」となったところから美江寺と呼ばれるようになりました。

～4年生のゲストティーチャーのお話より～

11月27日（火曜日）にそれぞれの学年が生活科や国語、総合的な学習に取り組む「地域家族参観（拡大PTC）」を行い、たくさんのおうちの方々にも参加いただきました。1年生・2年生は体育館で「昔の遊び」を楽しみました。冒頭のコマ回しでは、おうちの方よりも上手に回せる児童もたくさんいました。今の時代はバーチャルリアリティーで何でも仮想体験できますが、そういうものが無かった時代にはコマ回しや羽子板遊びやお手玉やだるま落としなどが楽しい遊びだったはずで、それをおうちの方々と一緒に楽しむことができました。



3年生は、自分でひいたきなこに砂糖を混ぜたものを、おうちの方が作った白玉だんごにまぶしました。香ばしいよい匂いがフロアーや廊下に漂いました。4年生は、お二人のゲストティーチャーから地域の祭りの歴史や昔の生活の様子についてお話を聞きました。今も、中小学校の児童は「狸々ばやし」などの地域のお祭りに参加をしていますが、それぞれにどんないわれがあるのかも教えていただきました。



5年生は、米作りにずっと関わってくださっている地域講師の方をお招きして、新米で作ったおにぎりとお味噌汁をふるまいました。地域講師の方も「こういう親子の共同作業がいいですね。」と言われて、心のこもった大きなおにぎりとお味噌汁を召し上がってくださいました。6年生は、社会福祉協議会の方をお招きして「高齢者疑似体験」を親子で行いました。プロテクターやヘッドホンを付けての歩行やお釣りを取ることがどれだけ大変かを身をもって体験しました。プロテクターを付けると歩行もすり足になります。ヘッドホンを付けると小さな音が聞き取れません。体験からいろいろと感ずることが多かったようです。



こうした「ふるさと学習」は、地域に生きる児童にとってとても大切な学びです。自分の住む地域の歴史にふれ、人の優しさにふれ、そして自分も地域で何が出来るのかを考えて行動することは、今まさに求められている力です。おうちの方や地域講師の方に教えていただきつつ、体験を通して学ぶことを中小学校では大切にしています。

## 第2回学校評議員会・いじめ未然防止対策会議が開催されました

11月15日（木）に、学校評議員会・いじめ未然防止対策会議が開催されました。全学級の授業参観のあとの会議では、「前回よりも更に児童が落ち着いて学習している」とお褒めの言葉をいただきました。また、アンケートのあと一人一人と面談して、小さな悩み事もきちんと担当が把握し続け

ていることも、「中小学校だからできるきめ細やかさ」と評価していただきました。

「中小学校の児童は優しい。通学班でも高学年が低学年の子どもに優しくしてくれている。」「学級宣言の中に『いじめの危険を止めよう』という意識が感じられ、子ども達自身が気を付けている」との意見もいただきました。世の中がどう変わろうと、誰もが安心して暮らせることの大切さは変わりません。1年間学級宣言で取り組んできた人権に対する取組の成果が実を結ぶ時期です。

### またうれしい電話がありました

「低学年の児童が交差点を横断するのを待っていたら、きちんと一列に並んで横断して、渡り終わったところで代表の児童が頭を下げてお礼を言ってくれる姿がとってもすてきでした。」こんな嬉しい電話が地域の方から入りました。中小学校の保護者でもなく、ただ下校時に交差点を車で通った方なのかもしれませんが、低学年の児童の下校の姿をこんな風に褒めていただけたのは本当にありがたいことです。早速、一斉下校でも児童に伝えました。日頃から、通学班の班長さん・副班長さんを中心にきちんと並んで登下校していることが、低学年下校でもこうした姿となってあらわれたのですね。